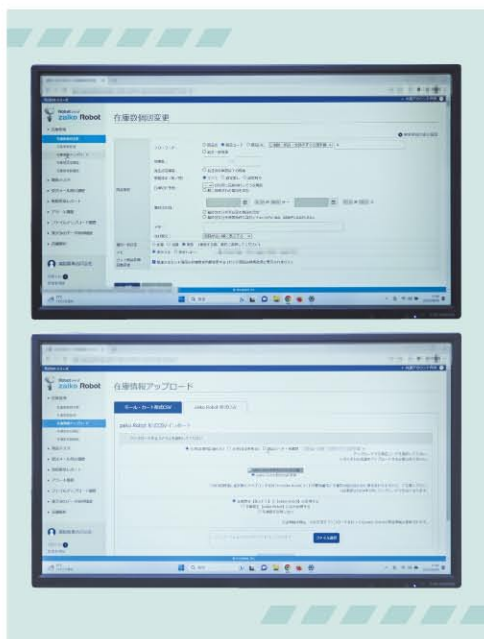


濱脇商事合同会社

〒761-0113 香川県高松市屋島西町1932-7
TEL:050-5360-6656
HP:https://peraichi.com/landing_pages/view/hamawaki

インターネット販売による卸売・小売業

大手ECモールで、釣り具、文具、衛生用品を主力商品として取り扱い、幅広い種類の商品を販売しています。



社長
濱脇 卓也氏

あの企業は
こう使っている！

事例に学ぶ IoT導入

バリエーション確保か数量維持か ジレンマを乗り越える在庫管理術

当初の在庫管理システムに
限界を感じる

複数の大手モール型ECサイトに“ずぐる屋本舗”を出店する濱脇商事合同会社。日用品を中心に約30万種類という商品数の多さを売りにシヨップを運用しています。各モールでは定期的にセールが開催され、その期間は消費者からの注文が殺到します。しかし、当時使っていた在庫管理システムは在庫の更新間隔が15分と長く、過受注を頻繁に起こしている状況。従業員はその度に消費者へ在庫不足を連絡したり、クレーム対応に追われていました。「過受注を防ぐため、在庫に余裕を持たせることも考えました。しかし、過剰在庫が発生して在庫の維持にお金がかかり、品数が増やせない状況になることを懸念。当社は、登録商品数を多くすることで、販売機会の創出を図っていることもあり、非常にジレンマを感じていました。加えて、顧客満足度への影響も危惧していたことから在庫管理

システムの移行を考えるようになりました」と濱脇社長。

在庫の更新間隔を短縮で
過受注&クレームを削減

導入したのは、複数のECサイト間の在庫数を自動連携し二元管理できる在庫管理システム。当初のシステムより在庫の更新間隔が大幅に短縮され、セールの際の過受注を確実に減らすことができるようになりました。加えて、お客さまのクレーム対応も少なくなり、従業員の精神的負担やストレスの軽減も実現しています。「このシステムのおかげもあり、主要シヨップである楽天モール内で、上位1%の月間優良シヨップに選ばれたり、楽天シヨップ・オブ・ザ・マンスを受賞しました。今後の目標は楽天ランキング1位取得商品数を1万種類まで伸ばすこと。そのために取引先を増やしたり、サプライチェーンの強化にも積極的に取り組んでいきたいですね」と濱脇社長は意気込みました。

図解！ IT導入ビフォー&アフター

After

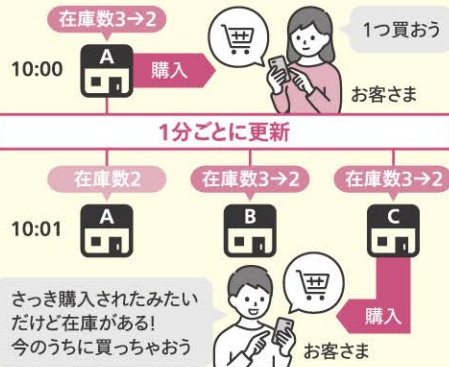
在庫管理システム zaiko Robot

- 複数のECサイト間の在庫数を24時間365日自動連携
- セット商品の在庫連携
- 実店舗とECサイトとの在庫連携も可能

すぐる屋本舗(楽天)はこちらから!



在庫の有無がリアルタイムでわかるように



在庫を多く抱える必要がなくなった



効果1 タイムリーな在庫管理が可能に

複数のECサイトの最新在庫数が最短1分ごとに更新されるように。タイムリーな在庫管理が可能になり、販売機会の損失や過受注が減った。

効果2 登録商品数が増やせるようになった

在庫を多く抱える必要がなくなり過剰在庫が起こる心配もなくなった。さらに、余剰資金によって新しい商品の仕入れに力が入れられ、登録商品数を少しずつ増やせている。

効果3 従業員の精神的負担を軽減

過受注が減ったことで、お客さまからのクレームが激減。クレーム対応による従業員の精神的負担を減らすことができています。

Before

在庫情報の更新間隔が15分ごと



課題1 最新在庫数の更新間隔が長く、過受注が頻発

最新の在庫数は15分間隔で更新される。そのため、リアルタイムでの在庫数が把握できず、販売機会の損失や過受注が頻発に発生していた。

課題2 在庫数(増)による過剰在庫の発生を懸念

過受注を防ぐために多く在庫を持つことも考えた。しかし、過剰在庫による滞留資産が発生し、キャッシュフローが悪化してしまうことを懸念していた。

課題3 クレーム対応による従業員の負担(大)

特にセール期間中に過受注になることが多く、お客さまからクレームが入っていた。クレームの度に従業員が対応に追われ、精神的な負担が大きかった。

担当Tの
編集後記

取材企業の
あれやこれや話

濱脇氏



当社は、少人数で業務全体を回しており、ITを活用

した業務効率化が必要不可欠です。そのため、スタッフには簡単なITやプログラミングを土台にしてマンパワーを上げてもらっています。将来的にはITに使われるのではなく、ITを使える人材になって欲しいと思っています。

濱脇商事では、スタッフ全員が入社後に簡単なプログラミングができるようになったそうです。同社では、Excelで行う処理を自動実行できるように作られたプログラム「マクロ」を記述するためのプログラミング言語「VBA」の資格取得を支援しており、受験料や参考書の購入費を補助しています。VBAを勉強してマクロが書けるようになると、Excelで行なっている定型業務を自動化でき、業務効率があげられます！

